

# Googleカレンダー連携 管理者用マニュアル

## 【目次】

1. Googleカレンダー連携とは
2. 【クライアントID】と【クライアントシークレット】の取得
3. J-MOTTO上での設定

# 1.Googleカレンダー連携とは

Googleカレンダー連携とは…



## J-MOTTOのスケジュール機能に、Googleカレンダーのデータを同期する機能

※J-MOTTOとGoogleカレンダーとの双方向同期ではない

※J-MOTTOにGoogleカレンダーのデータを反映するのみ

ご利用頂くにあたり、管理者様による設定が必要でございます。  
本マニュアルでは、管理者様で必要な設定についてご説明いたします。

双方向連携は【[desknet's Sync](#)】をご利用ください。

※お申し込み案内は[こちら](#)

# 1.Googleカレンダー連携とは

## 設定操作の流れ



① Googleへログイン

② クライアントID・クライアントシークレット取得

③ 管理者によるGW上での設定

④ ユーザー毎のアカウント設定

④ユーザー毎のアカウント設定について



「④ユーザー毎のアカウント設定」については、  
Googleカレンダー連携 ユーザーマニュアル

にて解説します

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(1/10)

※【Google Chrome】にてご操作ください※



Google  
ログイン  
Google Cloud Platform に移動する

メールアドレスまたは電話番号  
@gmail.com

メールアドレスを忘れた場合

ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。ヘルプ

アカウントを作成

次へ

日本語 ヘルプ プライバシー 規約



Google  
ようこそ

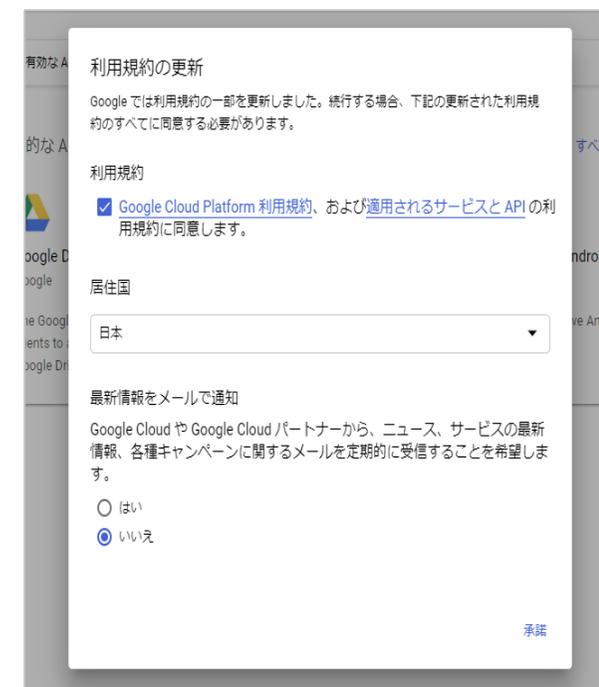
@gmail.com

パスワードを入力

パスワードをお忘れの場合

次へ

日本語 ヘルプ プライバシー 規約



利用規約の更新

Google では利用規約の一部を更新しました。続行する場合、下記の更新された利用規約のすべてに同意する必要があります。

利用規約

Google Cloud Platform 利用規約、および適用されるサービスと API の利用規約に同意します。

居住国

日本

最新情報をメールで通知

Google Cloud や Google Cloud パートナーから、ニュース、サービスの最新情報、各種キャンペーンに関するメールを定期的に受信することを希望します。

はい

いいえ

承諾

2-1.【Google Developers Console】 <https://console.developers.google.com> からログインし、メールアドレス・パスワードを入力

【クライアントID】・【クライアントシークレット】取得について



・管理者様でご用意したGoogleアカウントでログインしてください。

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(2/10)

①

API	API とサービス	有効な API とサービス
<input checked="" type="checkbox"/>	有効な API とサービス	<p>❶ このページを表示するには、プロジェクトを選択してください。</p> <p><a href="#">プロジェクトを作成</a></p>
<input type="checkbox"/>	ライブラリ	
<input type="checkbox"/>	認証情報	
<input type="checkbox"/>	OAuth 同意画面	
<input type="checkbox"/>	ページの使用に関する契約	

### 【プロジェクトを作成】

2-2. [APIとサービス] > [プロジェクトを作成] をクリック  
②画面へ

②

新しいプロジェクト

⚠ 割り当て内の残りのプロジェクト数は 12 projects 件です。プロジェクトの増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。 [詳細](#)

[MANAGE QUOTAS](#)

プロジェクト名\*  
J-motto Google Calender

プロジェクトID: steer-analyst-320502。後に変更することはできません。 [編集](#)

場所\*  
組織なし [参照](#)

親組織またはフォルダ

[作成](#) [キャンセル](#)

2-3.プロジェクト作成画面  
[プロジェクト名] を入力  
[作成] をクリック

※今回は例として [J-MOTTO Google Calender] と入力

プロジェクトを作成について 

- 全角文字は使用不可
- プロジェクトIDは表示されたデフォルト値で問題ありません

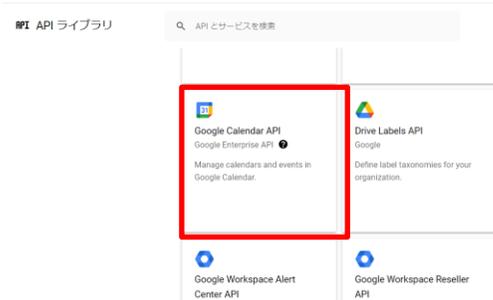
## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(3/10)



### 【APIの有効化】

2-4.プロジェクト作成後ダッシュボード画面  
[APIとサービスの有効化]をクリック  
②画面へ

②



③



2-5. [Google Calendar API] をクリック  
③画面 [有効にする] をクリック

### API有効化について



・有効化処理には時間がかかる場合があります

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(4/10)

①



Google Cloud | J-MOTTO Google Calender | スラッシュ (/) ... | 検索 | 2

API とサービス

- 有効な API とサービス
- ライブラリ
- 認証情報**
- OAuth 同意画面
- ページの使用に関する契約

認証情報

- + 認証情報を作成
- 削除
- 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセス

- API キー  
シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します
- OAuth クライアント ID**  
ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします
- サービス アカウント  
ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします

API キー

- ウィザードで選択  
使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

名前

表示する API キーがありません

OAuth 2.0 クライアント ID

### 【クライアントIDの作成】

2-6.APIの有効化完了後、[認証情報] > [認証情報を作成]  
[OAuthクライアントID]をクリック

②



API とサービス

- ダッシュボード
- ライブラリ
- 認証情報**
- OAuth 同意画面

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定](#)をご覧ください。

OAuth クライアント ID を作成するには、まず同意画面でプロダクト名を設定する必要があります。

同意画面を設定

2-7. [同意画面を設定] をクリック

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(5/10)

API	API とサービス	OAuth 同意画面
🏠	ダッシュボード	<p>アプリをどのように構成および登録するか（ターゲットユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。</p> <p>User Type</p> <p><input type="radio"/> 内部</p> <p><input checked="" type="radio"/> 外部</p> <p>組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 <a href="#">詳細</a></p> <p>Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備がきたら、アプリの確認が必要となる場合があります。 <a href="#">詳細</a></p> <p><b>作成</b></p>
📖	ライブラリ	
🔍	認証情報	
🔗	OAuth 同意画面	
🔒	ドメインの確認	
📄	ページの使用する契約	

### 【クライアントIDの作成】

2-8. [外部] を選択し、[作成] をクリック

API	API とサービス	アプリ登録の編集
🏠	ダッシュボード	1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ —
📖	ライブラリ	3 テストユーザー — 4 概要
🔍	認証情報	
🔗	OAuth 同意画面	<p>アプリ情報</p> <p>この情報は同意画面に表示されるため、開発者のユーザー情報と開発者への問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。</p> <p>アプリ名* J-MOTTOスケジュール連携</p> <p>同意を求めるアプリの名前</p> <p>ユーザー サポートメール* jmotto.user@gmail.com</p> <p>ユーザーが同意に関して問い合わせるために使用</p>
🔒	ドメインの確認	
📄	ページの使用する契約	

2-9. [アプリケーション名] は機能に直接かかわる部分では  
ございませんが入力必須項目になります。  
[サポートメール] はログインしたGoogleアカウントを入力してください。

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(6/10)

API	API とサービス	アプリ登録の編集
🏠	ダッシュボード	[アプリケーション利用規約] リンク 一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します
📖	ライブラリ	
🔑	認証情報	承認済みドメイン ⓘ
👁	OAuth 同意画面	同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、 <a href="#">Google Search Console</a> にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の <a href="#">詳細</a> をご覧ください。
🔍	ドメインの確認	<input type="text" value="j-motto.co.jp"/> <a href="#">+ ドメインの追加</a>
📄	ページの使用する契約	開発者の連絡先情報 メールアドレス* <input type="text" value="j-motto.user@gmail.com"/> <small>このメールアドレスは、プロジェクトの変更について e-mail によるお知らせするために使用します。</small>
<		<a href="#">保存して次へ</a> キャンセル

### 【クライアントIDの作成】

2-10. [承認済みドメイン] に [j-motto.co.jp] を追加  
[開発者の連絡先情報] にログインしたGoogleアカウントを入力  
[保存して次へ] をクリック

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
		表示する行がありません
<a href="#">保存して次へ</a> キャンセル		

2-11. スコープの設定画面は特に変更はせず [保存して次へ] をクリック

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(7/10)

API	API とサービス	アプリ登録の編集
	ダッシュボード	<input checked="" type="checkbox"/> OAuth 同意画面 — <input checked="" type="checkbox"/> スコープ — <input checked="" type="checkbox"/> <b>3 テストユーザー</b> — <input checked="" type="checkbox"/> 4 概要
	ライブラリ	
	認証情報	テストユーザー
	OAuth 同意画面	公開ステータスが「テスト中」に設定されている間は、テストユーザーのみがアプリにアクセスできます。アプリの確認前の許可済みユーザー数の上限は100で、この上限はアプリの全期間でカウントされます。 <a href="#">詳細</a>
	ドメインの確認	<input type="button" value="+ ADD USERS"/>
	ページの使用に関する契約	<input type="text" value="フィルタ プロパティ名または値を入力"/> ⓘ
		ユーザー情報 表示する行がありません
		<input type="button" value="保存して次へ"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

### 【クライアントIDの作成】

2-12.テストユーザーの設定画面は特に変更はせず [保存して次へ] をクリック

API	API とサービス	アプリ登録の編集						
	ダッシュボード							
	ライブラリ	スコープ <a href="#">編集</a>						
	認証情報	<table border="1"><thead><tr><th>API ↑</th><th>範囲</th><th>ユーザー向けの説明</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">表示する行がありません</td></tr></tbody></table>	API ↑	範囲	ユーザー向けの説明	表示する行がありません		
API ↑	範囲	ユーザー向けの説明						
表示する行がありません								
	OAuth 同意画面	テストユーザー <a href="#">編集</a>						
	ドメインの確認	<div><div style="width: 100%; height: 10px; background-color: #ccc;"></div><p>ユーザー 0 人 (0 人がテストユーザー、残り 0 人) / ユーザーの上限数は 100 人</p></div>						
	ページの使用に関する契約	<input type="text" value="フィルタ プロパティ名または値を入力"/> ⓘ						
		ユーザー情報 表示する行がありません						
		<input type="button" value="ダッシュボードに戻る"/>						

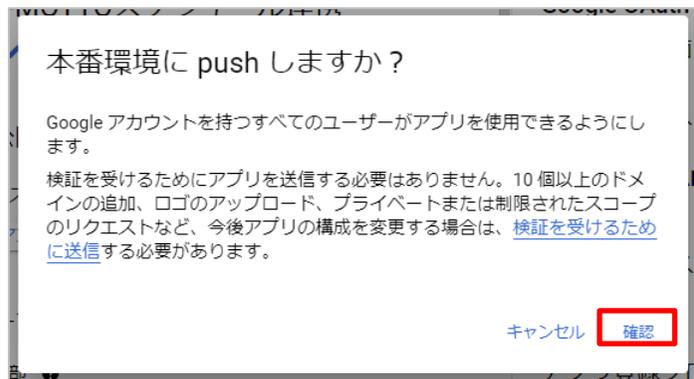
2-13. [ダッシュボードに戻る] をクリック

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(8/10)

API	API とサービス	OAuth 同意画面
🏠	ダッシュボード	J-MOTTOスケジュール連携 <a href="#">アプリを編集</a>
📚	ライブラリ	
👤	認証情報	
🔗	OAuth 同意画面	公開ステータス
🔍	ドメインの確認	テスト <a href="#">アプリを公開</a>
📄	ページの使用に関する契約	ユーザーの種類 外部

### 【クライアントIDの作成】

#### 2-14. [アプリを公開] をクリック



#### 2-15. [確認] をクリック

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(9/10)

API	API とサービス	認証情報	+ 認証情報を作成	削除
ダッシュボード		有効な API にアクセス	API キー シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します	
ライブラリ		API キー	OAuth クライアント ID ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします	
認証情報		名前	サービス アカウント	
OAuth 同意画面		表示する API キー	ロボットアカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします	

### 【クライアントIDの作成】

2-16. [認証情報] > [認証情報を作成]  
[OAuthクライアントID] をクリック

← OAuth クライアント ID の作成

クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用します。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライアント ID が必要になります。詳しくは、[OAuth 2.0 の設定をご覧ください](#)。

アプリケーションの種類 \*  
ウェブ アプリケーション

名前 \*  
ウェブクライアント1

下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面](#) に承認済みドメインとして自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 \*  
ブラウザからのリクエストに使用します

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI \*  
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

+ URI を追加

作成 キャンセル

2-17. OAuthクライアントIDの作成画面

① [アプリケーションの種類] > [ウェブアプリケーション] を選択

② [名前] 欄は [ウェブクライアント1]

③ [承認済みのリダイレクトURI] > [URIを追加] をクリック

④ J-MOTTOログイン後の [ポータル] 画面の上部に表示されている URL をコピー



⑤ URLの後ろに [?cmd=schgcalauth] を追加して入力

例: https://gws\*.j-motto.co.jp/cgi-bin/\*\*\*\*\*/dneo.cgi?cmd=schgcalauth

④ [作成] をクリック

## 2.【クライアントID】・【クライアントシークレット】の取得(10/10)

### OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

- i** [OAuth 同意画面](#)が確認されるまで、OAuth では[プライベートデータにかかわるスコープのログイン](#)が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があります、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID  
73536527340-vrf047fs8ug2e9b538tkbrkvgqq3g9o1.apps.goc 

クライアントシークレット  
NDWhBmY\_WgAvf9hN6m-8JWS0 

OK

### 2-19.クライアントID作成後

**[クライアントID]**・**[クライアントシークレット]**が表示

次の操作で必要になるため、控えをお取りください。

※画像内コードはサンプルです。

以上でGoogle APIsでの設定は完了です。

# 3.J-MOTTO上での設定

15 スケジュール

2018年11月26日(月) ~ 2018年12月02日(日)

組織選択 東京営業部

氏名	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)
日本橋 太郎	17:30 - 18:00 打ち合わせ	10:00 - 12:00 小夏商事	10:00 - 11:00 横浜営業会議	10:00 - 11:00 ABCシステム	10:00 - 10:30 資料請求フォロワー
六本木 昭	11:00 - 12:00 本橋銀行(田村様)	15:00 - 16:00 芝浦会計事務所	12:30 - 14:00 移動: のぞみ(227)	10:00 - 11:00 古谷商事(下田様)	10:00 - 14:00 小夏商事
広尾 陽子	11:00 - 12:00 PCメディア機器(中村様)	09:00 - 12:00 月次活動シート作成・提出	09:30 - 11:30 資料請求フォロワー	10:00 - 12:00 佐上ビルサービス(久保田様)	10:00 - 12:00 河合工業(岡野様)

## 【J-MOTTO上での設定】

### 3-1.スケジュール画面

[スケジュール] > [システム管理] > [Googleカレンダー連携設定] をクリック

### 3-2.Googleカレンダー連携設定画面

[クライアントID]・[クライアントシークレット] を入力  
[変更] をクリック

以上で管理者での設定は完了です。  
[Googleカレンダー連携\_ユーザーマニュアル]  
をご確認の上、ユーザー画面での設定を  
お願いいたします。



15 スケジュール > システム管理

設定機能: スケジュール

変更

### Googleカレンダー連携設定

Googleカレンダー連携の:  許可しない  
使用  許可する

タイムアウト(秒):   
※ この値は、Googleカレンダーの予定を取得する通信を行う際に、Googleカレンダーサーバーからの応答を待つ時間です。

クライアントID:

クライアントシークレット:

変更

## J-MOTTOお客様サポートセンター

TEL 0120-70-4515 (通話料無料)

平日10:00～17:00 (土・日・祝日休)

チャット <https://www.j-motto.co.jp/00000000/manual/>

(上記WEBサイト内右下部)

平日09:00～18:00 (土・日・祝日休)

メール [support@j-motto.co.jp](mailto:support@j-motto.co.jp)

操作方法や設定でご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。